



株主の皆さまへ

第5期 株主通信

2015年3月期 (2014年4月1日 ▶ 2015年3月31日)

Contents

- 1 ごあいさつ
- 2 連結財務ハイライト
- 3 グループ経営計画

特集 グループ事業紹介
(財務ハイライト、NEWS/TOPICS)

- 5 国内損害保険事業
- 7 国内生命保険事業
- 8 海外保険事業
- 9 金融・サービス事業

- 11 CSRの取組み
- 13 会社概要／役員／ホームページのご案内
- 14 株主メモ／株式の状況

株主の皆さまには、
平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第5期株主通信をお届けいたしますので、
ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

2015年6月

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社
取締役社長
グループCEO 櫻田 謙悟



ブランドスローガン

保険の先へ、挑む。

保険にとどまらない幅広い事業領域にチャレンジして行く、その幅広さを表現するとともに、「挑む」という能動的な言葉に、真のサービス産業を目指して行く、世界で伍していく強い意志を込めました。

ブランドステートメント

変化の時代にも、揺らぐことのない確かな明日をお届けしたい。
その想いをカタチにするために、私たちは進化します。
お客さまの「安心・安全・健康」な暮らしをひとつなぎで支えるグループへ。
保険の先へ、挑む。
日本の「損保」から、世界で伍していく「SOMPO」へ。

損保ジャパン日本興亜ホールディングス

(単位:億円)

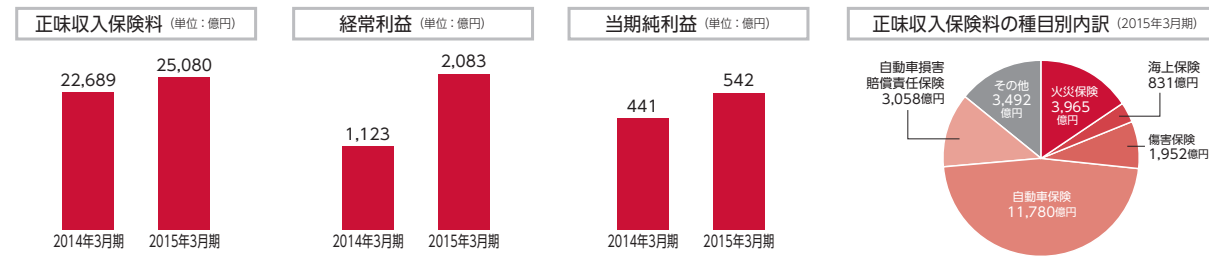
	2014年3月期	2015年3月期
経常収益	30,083	32,823
保険引受収益	27,446	30,430
正味収入保険料	22,689	25,080
生命保険料	2,772	2,772
資産運用収益	2,489	2,136
その他経常収益	147	255
経常費用	28,959	30,740
保険引受費用	24,202	25,812
正味支払保険金	13,392	15,312
資産運用費用	206	172
営業費及び一般管理費	4,393	4,650
その他経常費用	156	104
経常利益	1,123	2,083
当期純利益	441	542
総資産	94,997	102,534
純資産	13,901	18,298

正味収入保険料・生命保険料

正味収入保険料は、損保ジャパン日本興亜および海外グループ会社が増収したことにより、前期に比べて2,390億円増加(+10.5%)して2兆5,080億円となりました。一方、生命保険料は、前期と同水準となる2,772億円となりました。

経常利益・当期純利益

経常利益は、損保ジャパン日本興亜、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命および海外グループ会社が増益したことにより、前期に比べて959億円増加して2,083億円となりました。当期純利益は、損保ジャパン日本興亜において合併関連費用を含む特別損失1,029億円を計上したことや法人税減税の影響がありましたが、前期に比べて101億円増加して542億円となりました。



経営計画の進捗状況

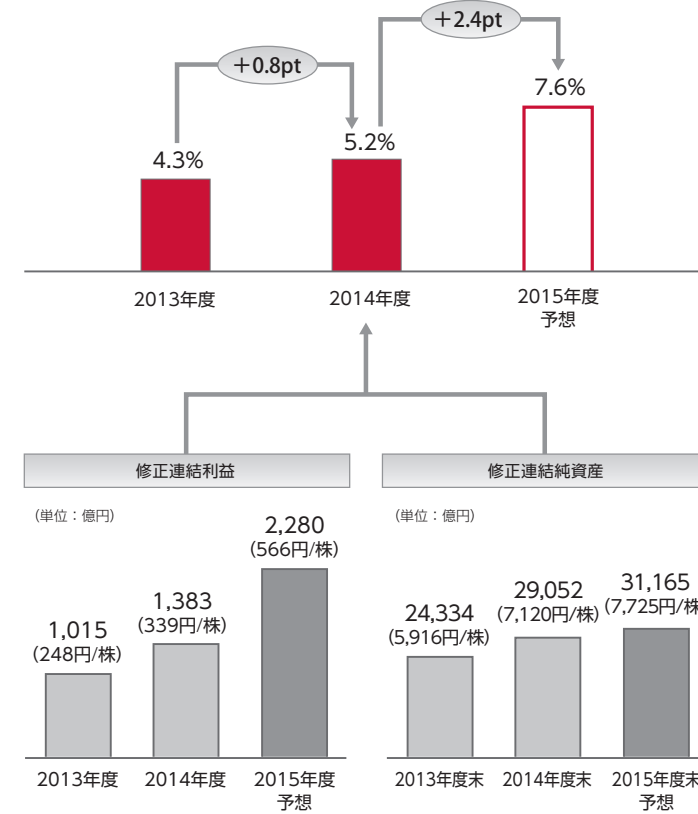
国内損害保険事業では損保ジャパンと日本興亜損保の合併を計画どおり完了したほか、自動車保険を中心に収支改善が進んでいます。国内生命保険事業では新商品を発売し、海外保険事業では事業領域を拡大するなど、中期経営計画の達成に向けて順調に取組みを進めています。

2014年度は、国内損害保険事業の大幅な収支改善を主因に、修正連結利益1,383億円(367億円増加)、修正連結ROE5.2%(0.8ポイント改善)となりました。

計画最終年度である2015年度には、計画策定当初の経営数値目標を上回る修正連結利益2,280億円、修正連結ROE7.6%を見込みます。

引き続き、国内損害保険事業の収益性改善に加え、国内生命保険事業、海外保険事業を中心とした成長戦略の加速に取り組めます。

修正連結ROE



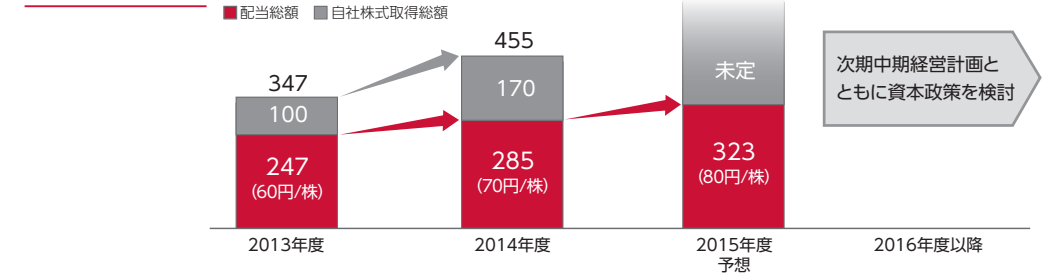
各事業区分の修正利益の推移 (単位: 億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	
	実績	実績	予想	当初計画
国内損害保険事業	65	699	1,167	700 ~ 800
国内生命保険事業	857	474	900	1,000 ~ 1,100
海外保険事業	78	186	192	140 ~ 200
金融・サービス事業	15	23	24	20 ~ 30
合計 (修正連結利益)	1,015	1,383	2,280	1,800 ~ 2,100

株主還元について

2014年度配当は、10円増配の1株当たり70円(中間30円、期末40円)としました。2015年度配当は、さらに10円増配となる1株当たり80円(中間40円、期末40円)と、2期連続の増配を見込みます。また、2014年度業績に対する株主還元として、総額170億円の自社株式取得を実施しました。

株主還元総額の推移 (単位: 億円)



修正連結利益 (除く国内生命保険事業)	158億円	908億円	1,380億円
総還元性向	219%	50%	-

修正連結利益等の計算方法

修正連結利益 = 以下の各事業区分の修正利益の合計

事業区分	修正利益計算上の事業の定義	修正利益の計算方法
国内損害保険事業	損害保険ジャパン日本興亜株式会社、 そんぽ24損害保険株式会社、 セゾン自動車火災保険株式会社、 の単体の合算	当期純利益 + 異常危険準備金繰入額 (税引後) + 価格変動準備金繰入額 (税引後) - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後) - 特殊要因
国内生命保険事業	損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社	当期エンベディッド・バリュー (EV) 増加額 - 増資等資本取引 - 金利等変動影響額
海外保険事業	海外保険子会社	当期純利益
金融・サービス事業	金融サービス事業、ヘルスケア事業など	当期純利益

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く生命保険子会社純資産) + 異常危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 生命保険子会社エンベディッド・バリュー (EV)

修正連結ROE = 修正連結利益 / 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

総還元性向 = (配当総額 + 自社株式取得総額) / 修正連結利益 (国内生命保険事業を除く)



損保ジャパン日本興亜

会社概要 (2015年3月31日現在)

会社名/損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 取締役社長/二宮 雅也
 本店所在地/東京都新宿区西新宿一丁目26番1号
 創業/1888年10月
 資本金/700億円
 URL/http://www.sjnk.co.jp/

格付け情報

Standard & Poor's 【保険財務力格付け】 A+	Moody's 【保険財務格付け】 A1
格付投資情報センター(R&I) 【発行体格付け】 AA-	日本格付研究所 (JCR) 【保険金支払能力格付け】 AA

	2014年3月期	2015年3月期
正味収入保険料	20,821	21,813
(除く自賠償)	17,839	18,760
正味損害率	65.7%	65.6%
(除く自賠償)	62.7%	63.2%
正味事業費率	32.2%	31.8%
(除く自賠償)	34.2%	33.6%
コンバインド・レシオ	97.9%	97.4%
(除く自賠償)	96.9%	96.8%
保険引受利益 (△は損失)	△ 625	452
資産運用粗利益	1,927	1,515
経常利益	1,177	1,951
当期純利益	495	450
総資産	70,989	73,262
純資産	12,333	15,926
単体SM比率 (2015年3月31日)		716.3%

(単位:億円)

正味収入保険料

自動車保険や火災保険などが増収したことから、前期に比べて991億円増加(+4.8%)して2兆1,813億円となりました。

経常利益・当期純利益

保険引受利益が1,078億円増加して452億円となったことを主因として、経常利益は前期に比べて773億円増加して1,951億円となりました。一方、合併関連費用、法人税減税の影響により、当期純利益は前期に比べて44億円減少して450億円となりました。

用語解説

SM(ソルベンシー・マージン)比率とは?

保険会社の健全性を見るうえで重要な指標のひとつで、通常の予測を超える大災害が発生した場合に、保険金を支払う能力があるかどうかを判断する数値です。一般的に200%以上なら保険金支払能力は問題ないとされています。

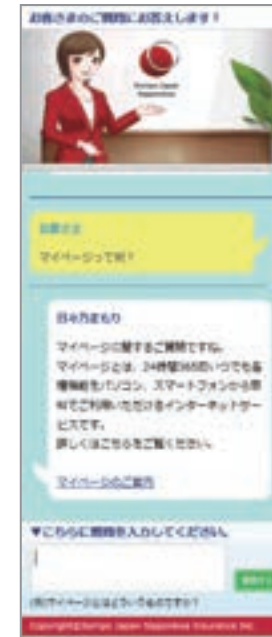
※2014年8月以前の数値は、旧損保ジャパンと旧日本興亜損保の合算値です。

NEWS / TOPICS

2015年3月

「バーチャルナビゲーションシステム」の導入

損保ジャパン日本興亜は、公式ウェブサイト上の「よくあるご質問」に「バーチャルナビゲーションシステム」を導入しました。画面に質問を入力すると、オリジナルの女性キャラクター「日々乃まもり」がお答えし、時間や場所を問わずお客さまの疑問の解消をお手伝いします。パソコン、タブレット端末、スマートフォンを通じて、どなたでもお気軽にご利用いただくことができます。



2015年1月

北米におけるシェールガス専用保険の販売開始

損保ジャパン日本興亜は、海外子会社Canopus Group Limited (以下「キャンピウス社」)を通じて、シェールガス事業向け専用の「暴噴制御費用保険」の提供を開始しました。北米で開発が進むシェールガスの掘削中に生じた暴噴事故に対する費用を補償する保険で、資源・エネルギー分野での保険引受に高いノウハウを持つキャンピウス社の強みを生かし、開発プロジェクトに参画する日系企業をサポートします。

2015年4月

「イクボス企業同盟」への参加

当社と損保ジャパン日本興亜は、NPO法人ファザーリング・ジャパンが設立した「イクボス企業同盟※」に加盟しました。男性社員の「短期育児休暇(7日以内、有給)の取得率100%」を目指した取組みや「イクボスセミナー」の開催など、積極的に進めていきます。

※イクボス企業同盟とは、育児や介護など、私生活と仕事の両立を目指して働く部下の活躍を後押しする上司(イクボス)の必要性を認識し、積極的に自社の管理職の意識改革を図り、イクボスの養成を目指す企業間のネットワークです。



損保ジャパン日本興亜
ひまわり生命

会社概要 (2015年3月31日現在)

会社名/損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社

取締役社長/高橋 薫

本店所在地/東京都新宿区西新宿六丁目13番1号
新宿セントラルパークビル

設立/1981年7月設立、1982年4月営業開始

資本金/172億円

URL/http://www.himawari-life.co.jp/

格付け情報

Standard & Poor's
【保険財務力格付け】
A+

格付投資情報センター(R&I)
【保険金支払能力格付け】
AA-

(単位:億円)

	2014年3月期	2015年3月期
保有契約高	202,455	210,431
新契約高	26,350	23,886
保有契約年換算保険料	3,085	3,174
新契約年換算保険料	304	356
保険料等収入	3,728	3,807
保険金等支払金	1,740	1,848
基礎利益	160	221
経常利益	172	225
当期純利益	80	97

保険料等収入

医療保険「新・健康のお守り」や終身保険「一生のお守り」を中心に保有契約が増加したことから、保険料等収入は前期に比べて78億円増加(+2.1%)して3,807億円となりました。

経常利益・当期純利益

保険料等収入の増収を主因として、経常利益は前期に比べて53億円増加して225億円、当期純利益は前期に比べて16億円増加して97億円となりました。

NEWS / TOPICS

2015年4月

限定告知型医療保険の新商品「新・健康のお守り ハート」を発売

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、健康に不安のある方でも簡単な告知でお申し込みいただけるよう設計された商品「新・健康のお守り ハート」を発売し、医療保険のラインアップを強化しました。



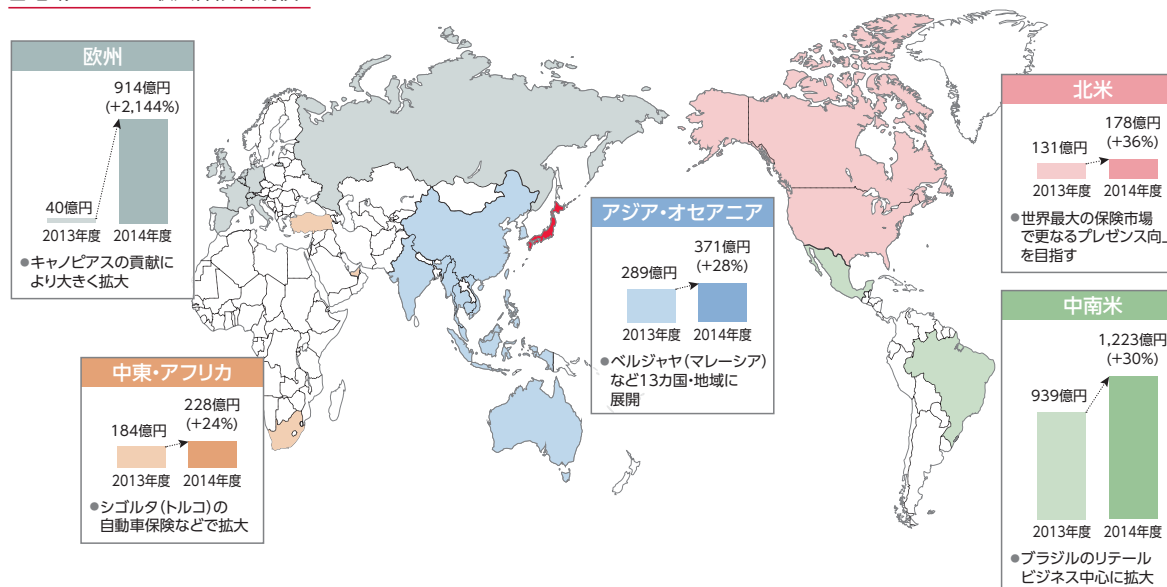
用語解説

MCEVとは?

エンベディッド・バリュー (EV) の評価基準の一つで、「企業の純資産価値」と「保有契約からもたらされる将来利益の現在価値」の合計として計算したものです。

当グループは、欧州、中南米、北米、アジア・オセアニア、中東・アフリカに海外ネットワークを有しています。保険引受業務ほか、事故対応、リスクエンジニアリングなどのサービスを提供しています。

各地域における収入保険料規模*



NEWS / TOPICS

2015年3月

スコール社への資本参加

当社は、フランスの再保険会社SCOR SE (以下「スコール社」) の株式を筆頭株主であるパティネックス社から取得することを公表しました。スコール社は世界有数の再保険会社であり、安定的に高い収益を実現しています。今後は出資比率を引き上げ、同社を2016年度に持分法適用関連会社とする予定です。



パティネックス社代表 エブナー氏 (左)、
櫻田グループCEO (右)

お客さまの資産形成に関するサービスを提供するアセットマネジメント事業や確定拠出年金事業、ロードアシスタンスサービスなどを提供するアシスタンス事業、お客さまのリスクマネジメント活動を支援するリスクコンサルティング事業、健康維持・増進やメンタルヘルス対策に関するサービスを提供するヘルスケア事業など、保険事業の枠を超えたビジネスフィールドの拡大を図っています。

(アセットマネジメント事業)

 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

(リスクコンサルティング事業)

 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント

(ヘルスケア事業)

 損保ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス

(リフォーム事業)

FRESH HOUSE

(アシスタンス事業)

 プライムアシスタンス

(ヘルスケア事業)

株式会社 全国訪問健康指導協会

(確定拠出年金事業)

 損保ジャパン日本興亜DC証券

NEWS / TOPICS

2015年3月 大手介護事業者メッセージ社との資本・業務提携

当社は、株式会社メッセージ（以下「メッセージ社」）と資本・業務提携契約を締結しました。メッセージ社はシニアリビング（介護付有料老人ホーム・サービス付高齢者向け住宅）市場でトップシェアを有し、近年重要性が増している在宅サービスでも先進的な取り組みを行っている介護業界のリーディングカンパニーです。

今後、当社が有する広範なネットワーク・高い信用力とメッセージ社が有する介護事業における高品質なサービス・ノウハウの融合を通じ、超高齢社会が抱えるさまざまな課題や介護ニーズの変化に対応する最高品質のサービスを総合的に提供していきます。



2014年8月 ALSOKとの業務提携

当社と警備業界のリーディングカンパニーである総合警備保障株式会社（以下「ALSOK」）は、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービス提供に向けて、幅広い分野において業務提携することとしました。

今後、両グループ共同のプロジェクトチームを立ち上げ、ALSOKのセキュリティ事業と当グループの保険事業の高付加価値化、少子高齢化社会に対応したサービスの共同事業展開など、両グループにしかできない最高品質のサービスをスピード感を持って提供していきます。



ALSOK本社ビル（東京都港区元赤坂）

NEWS / TOPICS

2015年2月 住宅リフォーム事業へ参入

当社は、株式会社フレッシュハウス（以下「フレッシュハウス社」）と株式譲渡契約を締結し子会社化しました。フレッシュハウス社は、首都圏を中心に中部・九州地方にも店舗展開するリフォーム専門事業者です。

今後、フレッシュハウス社が有するノウハウ・人材と当社が有するネットワーク・信用力を活かすことで、保険商品を介したサービスの提供にとどまらず、質の高いリフォームサービスを通じて多くのお客さまへ快適な住環境を提供し、より一層お客さまに選ばれるグループになることを目指します。



櫻田グループCEO(左)、フレッシュハウス社 佐野社長(右)

当グループは、社会的課題の解決に貢献するとともに、グループの成長にも資する取り組みとなるよう、CSRを推進しています。

○ CSRの取り組みの詳細はこちらからご覧いただけます ⇒ <http://www.sompo-hd.com/csr/>

当グループは、「安心・安全・健康」「教育・くらし」に関する国内外での活動を通じて、地域社会に貢献しています。



防災ジャパンダプロジェクト

子どもたちを対象にした「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を通じて、災害時に自分自身・周囲の人を守るための知識を提供する防災教育を実施しています。



インドネシア交通安全プロジェクト

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で、西ジャワ州バンドンにおいて、子どもたちが安心・安全に暮らせる社会の実現に向けて交通安全プロジェクトを展開しています。

©Ingrid Lund/Save the Children



みんなのひまわりプロジェクト

小学校の授業などを通じて、子どもたちが種からひまわりを育てる喜び、花を咲かせる感動を分かち合うことを目的としたプロジェクトを展開しています。

東北3県 復興支援マルシェ



2015年3月に、東日本大震災で被災した東北の物産品の魅力を幅広く紹介、食品の安全・安心を伝えることを目的に、「東北3県 復興支援マルシェ～発掘!!岩手・宮城・福島の隠れた銘品をご紹介!～」を開催しました。

復興大臣政務官 小泉進次郎氏(左)、辻副社長(右)

『損保ジャパン・グリーン・オープン (愛称:ぶなの森)』



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが運用する投資信託(ファンド)で、企業の環境問題への取組状況と投資価値の両面から分析して、評価の高い銘柄に投資しています。

2015年3月末時点の純資産残高は約218億円で、日本最大級のSRIファンドです。

● ファンドの詳細はこちら
<http://www.sjnk-am.co.jp/fund/0878/>



東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館

1987年にゴッホの《ひまわり》が常設展示のコレクションに加わり、日本で唯一、ゴッホの《ひまわり》を鑑賞できる美術館として、親しまれています。2015年4月に公開された劇場版アニメ「名探偵コナン 業火の向日葵」の制作に協力し、物語の舞台として美術館内外の取材・撮影協力や、ゴッホの《ひまわり》に関する情報提供を行いました。

SRIインデックス (社会的責任投資指数) への組入れ

当社は世界の主要なSRIインデックスの構成銘柄に組み入れられています。引き続き、非財務情報を含めた透明性の高い企業情報を積極的かつ公正に開示していきます。(2015年3月末現在)



■ 会社概要 (2015年3月31日現在)

会社名 …… 損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社
(英文表記: Sompo Japan Nipponkoa Holdings, Inc.)

本店所在地 …… 東京都新宿区西新宿一丁目26番1号

設立日 …… 2010年4月1日

資本金 …… 1,000億円

従業員数 …… 36,086名 (連結)

事業内容 …… 損害保険会社、生命保険会社その他の保険業法の規定により子会社等とした会社の経営管理およびこれに附帯する業務

■ ホームページのご案内

ホームページを通じて、個人投資家の皆さまに当社をよりご理解いただくための情報をお届けしています。



<http://www.sompo-hd.com/>

■ 役員 (2015年7月1日現在)

取締役会長	二宮 雅也
代表取締役社長執行役員 グループCEO	櫻田 謙悟
代表取締役副社長執行役員	辻 伸治
取締役副社長執行役員	西澤 敬二
取締役常務執行役員	竹本 尚一朗
取締役常務執行役員	江原 茂
取締役常務執行役員	伊東 正仁
取締役	高橋 薫
常務執行役員	藤倉 雅人
執行役員	細井 寿人
執行役員	田中 順一
執行役員	小嶋 信弘
執行役員	吉野 隆
執行役員	中村 茂樹
執行役員	笠井 聡
執行役員	奥村 幹夫
執行役員	ナイジェル・フラッド
取締役(社外取締役)	野原 佐和子
取締役(社外取締役)	遠藤 功
取締役(社外取締役)	村田 珠美
取締役(社外取締役)	スコット・トレバー・デイヴィス
常勤監査役	吉満 英一
常勤監査役	高田 俊之
監査役(社外監査役)	椿 慎美
監査役(社外監査役)	笠間 治雄
監査役(社外監査役)	柳 田 直樹

事業年度 …… 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当および議決権の基準日 …… 3月31日 (中間配当を実施する場合の基準日は9月30日)

単元株式数 …… 100株

公告の方法 …… 電子公告により行います。(http://www.sompo-hd.com/)ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 …… 東京証券取引所 (市場第一部)

株主名簿管理人 …… 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

郵便物送付先および各種お問い合わせ先 …… 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話: 0120-288-324 (フリーダイヤル)

特別口座の口座管理機関 …… みずほ信託銀行株式会社および三菱UFJ信託銀行株式会社
※お問い合わせ先等につきましては、裏表紙をご覧ください。

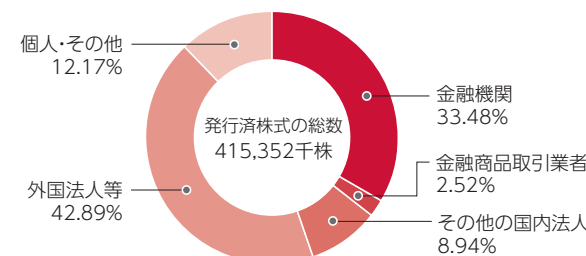
■ 株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数 …… 1,200,000,000 株

発行済株式の総数 …… 415,352,294 株

株主数 …… 45,796 名

所有者別株式分布状況



■ 株式に関する各種手続き

- 受取りがお済みでない配当金のお受け取り、支払明細等の発行については、株主名簿管理人にお問い合わせください。なお、配当金のお支払期間は支払開始から3年間となっておりますので、お早目にご請求ください。
- 住所変更、配当金受領方法の指定および単元未満株式の買取・買増などの各種手続きについては、証券会社等に口座をお持ちの株主さまはお取引のある証券会社等にお問い合わせください。なお、証券会社等に口座がなく、特別口座で管理されている株主さまは、裏表紙「特別口座の口座管理機関」にお問い合わせください。

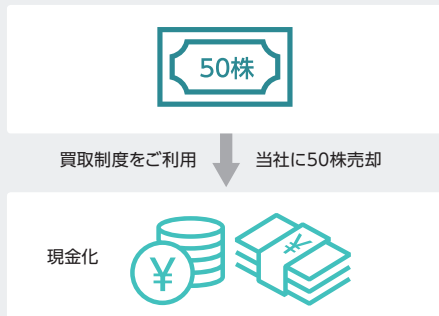
■ 単元未満株式の買取・買増制度のご案内

単元未満株式については、買取制度または買増制度をご利用いただくことができます。

● 単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。

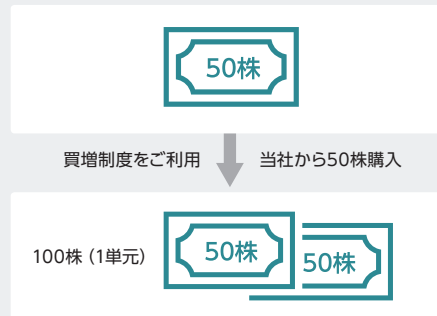
具体例 50株をお持ちの株主さま



● 単元未満株式の買増制度を利用

単元未満株式を当社から市場価格で買増して、単元株式とする制度です。

具体例 50株をお持ちの株主さま



■ 特別口座の口座管理機関

特別口座に記録されている株式は「単元未満株式の買取・買増」を除いて売買ができませんので、お早めに証券会社に株主さまご本人名義の口座を開設していただき、当該口座へ振替手続きを実施していただきますようお願いいたします。

詳細につきましては、「特別口座の口座管理機関」までお問い合わせください。

	[旧 損保ジャパンの株主さま]	[旧 日本興亜損保の株主さま]
特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-288-324 (フリーダイヤル)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711 (フリーダイヤル)

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿一丁目26番1号
TEL. 03-3349-3000 (代表)



この株主通信は環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。